

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 11-026

PDCA	事務事業名	知多半田駅前再開発ビル商業施設支援事業	部課等名	市民経済部 経済課 商工担当	担当	赤坂			
					内線等	322			
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 4. 商工業・サービス業 単位施策： (2) 接続可能な商業の振興 個別施策： ③中心市街地の商業の魅力創出							
	根拠法令等	半田市知多半田駅前再開発ビル商業施設利用促進補助金交付要綱							
	対象・目的	知多半田駅前再開発事業の核施設であるクラシティの商業施設の利用者を増やし、お客様が商業施設を利用するにあたって利用しやすい環境を整えるため、駐車場の利用料金の補助及び商業施設の利用促進に繋がる事業について補助し、賑わいづくりを支援する。							
	目的を達成するための手段・活動内容	クラシティの商業施設を利用した者の駐車場料金を2時間まで無料化することで、利用促進を図る。駐車場利用に係る使用料の2分の1を補助するとともに、商業施設の利用促進に繋がる事業の経費を補助することで、持続可能な運営につなげる。また、クラシティの修繕積立金を負担する。							
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位			
		①駐車場利用台数うち補助対象利用台数	18,718	115,799	99,276	台			
		②駐車場利用台数	176,675	199,329	149,120	台			
		事業費	2,684	6,188	4,518	千円			
		人件費	1,249	1,553	1,543	千円			
		総事業費	3,933	7,741	6,061	千円			
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位			
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位			
		①クラシティの商業施設のテナントの充足率	実績値	80.0	80.0	88.0	%		
			目標値	100.0	100.0	100.0			
			実績値						
			目標値						
			実績値						
		目標値							
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性			
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある		
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更			
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない		
	事業の評価・課題	C コロナ禍の影響を受け、クラシティへの来客が減ったことにより、駐車場利用者が大きく減った。その中で、商業施設においては、状況を見計らいながら、企画運営や情報発信に努めた。具体的には、時短営業要請等で飲食店による集客が難しい中、ガラス戸の全面開放ができる1階のにぎわいテラスを活かしてお弁当販売を強化し、HPやSNSを使ったWEBにより魅力を発信。お弁当販売は好評に推移している。今後は、はんだっこへ来る親子が多いことや、立体駐車場併設で雨天時も来やすいという強みを生かした取組を強化し、集客につなげることが課題である。							
		今後の事業の方向性	改善推進 コロナ禍でも安心して利用できる環境づくり、魅力を知って来ていただけるような情報発信強化を支援していく。また、3階のはんだっこ利用者が1・2階を利用していただけのように、子育て世代に親しんでもらえる環境づくりや企画内容を充実していけるよう支援を図る。						
			令和3年度の目標	成果指標				目標値	単位
				①クラシティの商業施設のテナントの充足率				100.0	%